

池田亀鑑生誕の地から贈る

平成29年度とっりの文化芸術探訪事業

第六回 池田亀鑑賞授賞式・記念講演会

2017年6月24日(土)

午後1時30分～4時30分

日南町総合文化センター・多目的ホール

参加費 500円

第一部 池田亀鑑賞授賞式および受賞者記念講演会

本橋裕美 氏

Motohashi Hiromi

演題 「齋宮という女性 - 『源氏物語』が描く、とある皇女の物語 -」

第六回池田亀鑑賞の受賞作品は
本橋裕美・著『齋宮の文学史』(翰林書房・刊)に決定しました。

受賞者プロフィール

- 1983年5月 埼玉県に生まれる
- 2006年3月 東京学芸大学教育学部卒業
- 2013年2月 一橋大学大学院言語社会研究科博士課程修了 学位 博士(学術)
- 現職 愛知県立大学日本文学学部准教授
論文「母を看取る后—『源氏物語』紫の上の臨終と明石の中宮—



第二部 特別講演

原 豊二 氏

(ノートルダム清心女子大学准教授)

演題

池田亀鑑文学碑 『たゞ至誠にあり』の由来

第三部

鎌倉時代の『源氏物語』古写本「若紫」巻を読み、池田亀鑑を追体験する

講師：伊藤鉄也 氏

■池田亀鑑賞選考委員長・NPO法人「源氏物語電子資料館」代表理事
大阪観光大学特命教授

池田亀鑑が生涯をかけて取りくんだ『源氏物語』の古写本「若紫」巻の仮名文字を読んでみます。

いづれの御時にか、女御、更衣あまたぞらひたまひける中に、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時わきたまふありけり